



令和8年度 堅果類豊凶調査結果をお知らせします



県では毎年、ツキノワグマの秋期の主な餌となる堅果（どんぐり）類の豊凶調査を実施しています。今年の調査結果がまとまりましたので、今後のツキノワグマ（以下「クマ」という。）の出没予測と合わせてお知らせします。

●調査結果の総評

本年度は県内全域で堅果類の結実が多い傾向で、特にクマの出没数を左右するブナやミズナラは県北部で安定した結実が確認されました。（詳細は別紙をご覧ください。）

●調査結果を踏まえた今後の出没予測

令和8年 秋

県内全域で堅果類の結実が多い傾向のため、山林内に留まるクマが多いと予測されます。

キノコ採りなどで山林に入る際は十分に注意してください。

堅果類の結実量にはバラツキがあるため、一部地域では人の生活圏にクマが出没すること考えられますが、大量出没の危険性は低いと考えられます。

令和9年 春

堅果類の豊作年には出産個体が増えると言われ、来春に親子グマの出没が増える可能性があります。

雪どけの状況など春の訪れが早いと、冬眠からの目覚めも早まることがあるので、春先のクマの出没状況にもご注意ください。

【参考】人の生活圏におけるクマの目撃件数（令和8年4月～8月）

780件（前年同期693件、+87件）

- ・雪どけが早く、春先のクマの活動開始時期（目撃）は例年に比べて半月ほど早かった
- ・5月、6月の目撃件数は例年に比べて多かった（5月、6月は過去最多）

県民の皆様へのお願い

- クマの行動域は広いので、山林以外の場所でも人と遭遇する場合があります。
- クマが活発に活動する朝夕の時間帯や見通しの悪いヤブ近くでの活動は特にご注意ください。
- 山野や山ぎわで活動される際は、複数人で行動し、音の出るものを携行してください。
- 万が一、遭遇した場合は、クマから目を離さず、ゆっくりとその場から離れてください。
- クマに人の生活圏を餌場として認識させないため、廃棄野菜や家庭の生ゴミは適切な処分を。

※ 長野県ウェブサイト「ツキノワグマについて知っていただきたいこと」もご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/bear.html>



長野県産木材ロゴマーク &
キャッチフレーズについては
こちらから➡



つなが木のいのち

NAGANO WOOD PRODUCT

（問合せ先）

担 当	林務部森林づくり推進課鳥獣対策係 神谷、内藤
電 話	（代表）026-232-0110（内線）3264 （直通）026-235-7273
F A X	026-234-0330
電子メール	choju@pref.nagano.lg.jp

(別紙)

令和8年度堅果類豊凶調査の結果（長野県）

【樹種別評価】

樹種	判定	前年比	豊凶の状況
ミズナラ、コナラ	並作 〔並作下〕	➡	・一部に結実量が少ない地域もあるが、 <u>県内全域で並作程度の結実</u> が認められる。
ブナ	豊作 〔凶作〕	⬆	・県北部に広く分布するブナは <u>豊作から大豊作</u> である。
クリ、クヌギ等	並作上 〔並作上〕	➡	・地域や個々の樹木によるバラツキはあるが、全体でみると <u>例年同様に一定の結実</u> が認められる。

【地方別評価】

地方（地域）	判定	前年比	豊凶の状況
東信 （佐久、上田）	並作 〔並作〕	➡	・地域や個々の樹木によってバラツキはあるが、 <u>昨年と同程度の結実</u> が見込まれる。
南信（諏訪、上伊那、南信州）	並作下 〔並作〕	➡	・広く分布するミズナラ・コナラは凶作の場所もあるが、 <u>例年並みの結実</u> が見込まれる。
中信（木曽、松本、北アルプス）	並作上 〔並作〕	➡	・木曽地域は昨年並みの結実であるが、 <u>松本以北</u> では昨年よりも作柄が良く <u>結実が多い</u> 。
北信 （長野、北信）	並作下 〔不作〕	➡	・ブナは豊作以上の作柄で結実が多い。コナラやミズナラは地域差が認められるものの、 <u>並作程度の結実</u> が見込まれる。

※〔 〕はR7年の判定

※ 豊凶判定：大凶作 < 凶作 < 不作 < 並作下 < 並作 < 並作上 < 豊作 < 大豊作

※堅果類豊凶調査の実施方法

対象樹種：ミズナラ、コナラ、ブナ、クヌギ、クリ、クルミ

調査方法：①県内各地（令和8年度：145地点、1,165本）で目視により樹冠全体及び枝の着果状況を確認

②着果状況に応じて樹木ごとに着果度ランクを決定

0:着果無し 1:樹冠一部 疎に着果 2:樹冠一部 密に着果

3:樹冠全体 疎に着果又は樹冠半分密に着果 4:樹冠全体 密に着果

③地点樹種ごとに着果度ランクの平均値を出し、豊凶を判定

着果度ランク平均値	豊凶判定	着果度ランク平均値	豊凶判定
0	大凶作	1.5以上～2.0未満	並作
～0.3未満	凶作	2.0以上～2.5未満	並作上
0.3以上～1.0未満	不作	2.5以上～3.5未満	豊作
1.0以上～1.5未満	並作下	3.5～	大豊作

④判定結果を林業総合センター、環境保全研究所の研究員が総合的に評価、クマの出没を予測